

第2回朝霞市公共施設等総合管理計画検討委員会
会議での主なやり取り（会議録要約）

	委員からの意見・質問	意見を踏まえた今後の対応 質問への回答
1	計画概要と公共施設の現状について	
1	（資料2-1 32ページ 図2-43） （資料2-2 6ページ B-6）等 過去に公共施設の整備に支出してきた実績値は H17～25年度の平均とのことだが、それでは近年の厳しい財政状況が正確に反映できていない。直近5年程度の平均とすべきではないか。	直近で財政状況が特に厳しいのは認識している。ただ、ここ数年は景気の落ち込みが大きく、大型事業が一段落して投資額が少ない期間だったという背景はある。今後も必要な事業は着実に実施する考えであり、景気の波も考慮して、直近10年間の平均とした。
2	（上記回答から） 図にある「実績」の表記は、過去の実績を参考にした数値、などとして分かるように工夫して欲しい。	表現については、ご意見を踏まえて検討したい。
3	（資料2-1 5ページ 表1-3） 高齢者住宅が計画対象外となっている理由は何か。	現在、高齢者住宅は借家の形態で運営しており、市が更新費用を直接負担しない。このため計画の対象外とした。
4	（資料2-1 32ページ 図2-44） 建設費と維持管理費の割合は、評価期間を長く取るほど維持管理費が高くなる。それを根拠にして維持管理費を削減するというのは良くない。むしろ修繕費を積極的に確保すべき。	図2-44の維持管理費には、修繕費も含まれている。コスト縮減にあたっては、維持管理費だけでなく、更新費など他の費用も同様に努力していく。
5	（資料2-4 1ページ 空調） 空調の温度設定は、市で統一しているか。	基準として夏季28度、冬季21度としているが、空調の特性もあるので、状況に応じて調節している。過剰な運転をしないという方針でやっている。
6	（資料2-1 34ページ 図3-1） 総合管理計画とアクションプランとの関係は、どのようになっているのか。	総合管理計画では具体的な施設名を挙げて統廃合するなどの記述はしない。総合管理計画の内容を受けて、今後アクションプランを作る考えでいる。10年程度の期間を対象にして、具体的にどの施設を大規模修繕、建替えるかを記述していく方向。

	委員からの意見・質問	意見を踏まえた今後の対応 質問への回答
7	(資料2-1 34ページ 図3-1) 等 アクションプランは庁内検討委員会で 作るということなのか。	基本的には庁内検討委員会で作る考え。た だ、作る過程で市民の意見は当然取り入れ ていきたい。
8	(資料2-5) 等 将来、街の姿が具体的にどうなっている か、何の施設がどこにあって、道路は延 長何 km で、といった具体像を市民と共 有できるようにした方がいいのではな いか。	概念的な部分は資料2-2のA-2などで示 しているが、具体像は示せていない。そう いったものが示せるかどうか、表現方法も 含めて検討してみたい。
2 公共施設の管理基本方針について		
9	(資料2-2 6ページ B-6) 延床面積を7%減らすとあるが、具体的 にはどれぐらいの面積になるのか。	朝霞市の公共施設は全体の延床面積が約 25万㎡あるので、その7%は1万7,500㎡ ということになる。だいたい小学校1校と 中学校1校ぐらいの大きな量になる。
10	(資料2-2 5ページ B-3) 施設が不足している分野には、どうい うものがあるか。	例えば保育園や放課後児童クラブなどは、 現在でも十分な量が供給できていないの ではないかと思っている。
11	(資料2-2 5ページ B-3) 市民ニーズを捉える場はあるのか。市の ホームページにそういう場所はあるか。	市に寄せられるご意見のほか、人口や経済 などの指標などから総合的に判断してい る。市のホームページでもご意見をいた だく場を用意している。その他に、市から 問いかけてご意見を集めるということも 考えていいのではないかと 思っている。
12	(資料2-2 3ページ A-4) 縦の組織に横串をさして考えるとい うのは、具体的にどのような事を考 えているか。	例えば業務委託の発注を、複数施設ま とめて行くと安価になる場合がある。イン フラ系についても横串をさす方法を考 えたい。
13	(資料2-1 35ページ 図3-2) 等 庁内での検討は、どんな課が参加して いるのか。	庁内検討委員会は、施設を実際に所管 しているほとんどの課と、インフラを 所管している各課、それに政策企画課、 財政課、財産管理課で構成している。

	委員からの意見・質問	意見を踏まえた今後の対応 質問への回答
14	(資料2-2 4ページ B-1) 等 市民活動の場所がなかなか確保できないという声があるが、そういった声をしっかり把握して知恵を絞って欲しい。また、市民活動にはどういったものがあるか把握することも、公共施設を考える上で重要だと思う。	(ご意見)
15	(資料2-2 5ページ B-3) 等 施設が不足している分野があるとの事だが、一方で今回の計画に賃貸物件は入っていない。これは施設を直接保有することを意味するのか。	ソフト面から見てニーズが増えている分野はある。しかしハード(建物)を市が直接保有するという意味ではない。
16	建替え費用などの資金調達に起債で賄うとの事だが、地方債を引き受ける側として金融機関との対話が大事だと思う。	起債には決められた要件があるため、市の好き勝手に発行できる訳ではない。起債の際には、金融機関に説明をしている。
17	大規模な開発許可の場合、条件に公共施設を設置する要件を入れるという方法もある。	民間の施設を活用する検討は必要だと思っている。ただし、開発許可に絡めた形でできるかどうかは検討課題とさせて欲しい。
18	(資料2-2 6ページ B-7) 財源確保は重要。PPP/PFIの取組や、使用料・手数料の見直しなど。	PPP/PFIは、事業を検討する際には案の一つとして入れるべき。老朽化対策として使用料を財源にできるかどうかは検討課題である。
19	(資料2-2 6ページ B-7) 公共施設の使用料金は、近隣市に比べて高いのか、それとも安いのか。	具体的に比較したわけではないが、近隣4市と同程度の水準ではないかと考えている。
20	(資料2-2 7ページ C-2, C-4) 劣化診断による予防保全は大切。耐震診断は、計画があっても財源がなくて先延ばしになっているので、案には財源の見込みを付けてほしい。	(ご意見)

	委員からの意見・質問	意見を踏まえた今後の対応 質問への回答
21	(資料2-2 8ページ C-7) 長寿命化は大切だが、その前に延命化の 妥当性評価や施設の必要性評価がその 前にあるべき。	(ご意見)
22	(資料2-2 7ページ C-2) 予防保全はいい事なのだが、実際には理 解が得られず方針を貫徹できない事例が多 い。方針を作って広報に努めるべき。	(ご意見)
23	(資料2-2 7ページ C-1) 施設管理担当者向けの研修とはどうい う意味か。	日々の施設点検の要点を、施設管理担当の 職員に教えていく、という意味である。
24	市が直営で工事をしたほうが安くでき るのではないか。	現在では、民間の建設業者の職人やノウハ ウを活用して、市がそれを管理するという 方法でやっている。
25	(資料2-2 7ページ C-1) それぞれの市に特化した点検マニユア ルを作ったほうが、お仕着せのものより もいいものができる。	(ご意見)
26	(資料2-1 35ページ) 公共施設等総合管理計画庁内検討委員 会の責任者は誰がやっているのか。	総務部長が委員長をやっている。